



ぞうぐみだより No.2

令和3年4月30日(金)

ぞう組担任 小暮 結実

新年度が始まり、3週間が経ちました。新しい保育室や環境、年長組の生活に緊張していた子どもたちも、少しずつ慣れてきた様子が見られます。お好み焼きを作りたい、お菓子屋さんをしたい、素敵なドレスを作りたい、と自分のしたいことを見つけて遊びながら、友達と同じイメージをもち、声を掛け合って遊ぶ姿も見られるようになりました。今回の学級だよりでは、4月の子どもたちの様子をお伝えします。

異年齢交流 ～年少組さんのお手伝い～

登園時の身支度や、初めての検診、園庭のお散歩で、幼稚園に入園したばかりの年少組さんのお手伝いをしました。

お手伝いに行く前日に、「初めて幼稚園に来た年少さんはどんなことに困っているかな?どうやってお手伝いしたらいいかな?」と問い掛けると、「カバンを置く場所が分からなくて困ってると思う!」「一緒にロッカーを探してあげよう」「お家の人と離れたくないって泣いちゃう子もいるかな」「手をつないであげよう!」と、子どもたちなりに考えていました。

年少組さんが登園すると、靴の履き替えをする場所で上履きの履き方を教えてあげたり、名札を見てロッカーの場所を探してあげたりしていました。また、支度が終わると一緒に絵本を読んであげたり、電車をつなげてあげたりして、優しく関わろうとする姿も見られました。



輪っかを引くと履けるよ!



ここにカバンを入れようね



電車をつなげてあげるね!

♪遊びの様子♪

年長組になって、大型積木やキングブロック、スクーターなど新しい遊具に触れたり、お店屋さんごっこではより本物らしく作ったりするを楽しんでいます。



お好み焼きを作ろう!



大きなお家ができた!



キングブロックで作った大きな車 みんなで乗れるね!



ここにお花を描こう!



元気に泳げ！こいのぼり

戸外で遊んでいる時に、空にこいのぼりが揚がるのを見た子どもたち。自分たちも友達と一緒に大きなこいのぼりを作ることになりました。



尾をはさみで切る時は、ビニールを押さえながら、友達と協力して切りました。



うろこに色を付けたら、実際に並べてみて配置を決め、雨水が入らないようOPPテープでしっかり覆うように留めました。



各グループで相談して決めた素材を、うろこの形に切ったり、丁寧に色を付けたりしました



こいのぼり作りを通して、体の色、うろこの素材、目の色など、グループの友達と話し合って1つのことを決めていく経験をしました。自分の思いを表すだけでなく、「〇〇ちゃんは何色がいい？」と、友達の思いも聞くことができるように援助することで、少しずつ自分から友達の思いを聞こうとする姿が見られています。また、互いの意見をすり合わせていく過程では、1つに決めていくことが難しく、時間がかかったグループもありました。「体は水色に決まったけど、〇〇くんがいいなと思った黄色も、うろこで使えるよ」と提案すると、「いいね！」「じゃあ〇〇ちゃんと言っていた赤も、うろこを塗るときに使おうよ！」と、子どもたちから声があがり、じっくり話し合って決めることができました。

自分の思いを表すだけでなく、友達の思いを聞いて話し合い、目的に向かって取り組む活動を通して、「友達と一緒にしたらこんなことができた！」という達成感や満足感につなげていけるよう、今後も工夫してまいります。



主事の皆さんに、作ったこいのぼりを揚げていただきました！

<お願い>

いつも空き箱の回収にご協力いただきありがとうございます。今回は、以下の廃材の回収にご協力お願いいたします。

- 様々な柄や模様の布きれ
- プリンカップ
- 牛乳パック
- ティッシュ箱
- 洋服のボタン

☆牛乳パックやプリンカップなどは、よく洗い、乾かしてからお持ちください。